

登録コード	MA730200	開講年度	2026			
授業科目名	母子看護学支援特論			担当教員	中込 さと子 他	
英文授業名	Special Lectures for Caring in Child and Women's Health Nursing			副担当	芳賀 亜紀子・徳武 千足・佐藤 奈保	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限 月曜・7時限	対象専攻／学年
講義室		授業形態	講義	授業科目区分	選択科目	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】 高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。			⇄	現代社会で解決が求められている小児看護学並びにリプロダクティブヘルス・ライツに関連するトピックについての現状や研究を探索し、問題解決への実践や研究について考察する。	
	【保健学】 保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。			⇄	母子看護学に関連する、医療・保健・福祉等の課題に関して様々な分野との連携における課題解決についての実践や研究により、今後の研究や実践における自己の方向性を見出す。	
(2)授業の概要	小児看護学並びにリプロダクティブヘルス・ライツの主要概念と、諸外国並びに我が国における情勢を含めた臨床的課題と支援のための関連分野の諸理論ならびに実践について探求する。 また、遺伝子診断や不妊治療、ハイリスク新生児医療、医療的ケア児、慢性疾患小児などの現状を踏まえた、子どもと女性と家族の健康に関わる看護についての論点を探求する。 EBN, EBMや症例報告について理解し、実践と研究を関連づける能力を培う。 本事業は、担当教員の医療機関における実務経験ならびに研究・教育経験を活かして行います。 また本科目が男女共同参画に関する内容が含まれます。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	1.小児看護学ならびにリプロダクティブヘルス・ライツの主要概念に関連する諸理論と臨床的課題ならびに、関連する研究について理解し、支援のあり方を検討する。 2.遺伝子診断や、出生前診断、出生前治療、不妊治療、ハイリスク新生児医療、医療的ケア児、慢性疾患小児などの現状を踏まえた、女性と家族の健康に関わる看護のあり方について理解する。 3.小児看護ならびにリプロダクティブヘルス・ライツに関する臨床倫理について、分析する能力を培う。					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1.小児看護学ならびにリプロダクティブヘルス・ライツの主要概念と臨床的課題について、研究的な裏付けや、医療や看護、社会の動向と関連して説明することができる。 2.遺伝子診断や、出生前診断、出生前治療、不妊治療、ハイリスク新生児医療、医療的ケア児、慢性疾患患児などの現状を踏まえた、子ども、女性と家族の健康に関わる看護のあり方について理解し、自分の意見を述べるができる。 3.小児看護ならびにリプロダクティブヘルス・ライツに関する臨床事例や研究、また自ら文献から検討し、分析することができる。					
(5)授業計画	日程については目安です。後日調整して決定します。 第 1 回 オリエンテーション・イントロダクション 中込(4/13) 第2-7回 育児支援・乳児期の事故他 芳賀・徳武 (6/1・15・22) 第8-11回 医療的ケア児・慢性疾患患児支援他 佐藤 (6/29・7/6) 第12-15回 アポーションケア・遺伝他 中込 (7/13・7/27) 最終回到授業アンケート					
(6)授業の進め方	一部講義と学生によるプレゼンテーション、ディスカッションにより進行します。 本科目は複数の教員が担当しています。学部の授業や実習等により日程の変更が必要な場合があります。 各講義担当者と事前に連絡を取り、日程、課題と授業方法について打ち合わせて学修を進めてください。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回の授業の前に次の担当教員と事前課題について事前課題の打ち合わせを行ってください（対面あるいはメールによる）。各講義担当者がその都度、事前、事後課題と、授業の進め方について提示します。 課題の内容は講義により異なり、テーマに関する講師の提示した文献を読んで自己の意見をまとめるもの、テーマに関連する文献検討を行い、授業内でプレゼンテーションを行うものなどが示されます。 本科目は90時間のうち授業時間60時間（2×2×15回）を除いた30時間（1回あたり平均2時間）は事前事後学習に費やされるものとなっています。 Web会議システムを利用して遠隔授業を行う場合は、事前に I D／パスワードを通知します。					
(8)成績評価の方法	プレゼンテーションとディスカッションの内容で評価します。					
(9)成績評価の基準	学生の理解度、事前学習内容、およびプレゼンテーションとディスカッションの内容で評価し、評価基準は以下とします。成績は、各担当者が評価し、合議の上で決定する。 ・各授業において、基本的な専門用語と概念を理解し、各授業において質問や説明、ディスカッションを行う際に、どの用語や概念を用いるのがふさわしいか判別できている場合に合格水準にある（可）とする。 ・合格水準に加えて、各授業のテーマについて、関連文献や事前学習などができており、自分の考えを述べることであれば、やや優れている（良）。 ・合格水準に加えて、主要な学説や研究を用いた裏付けのもとに、説明やディスカッションができ、かつ本テーマに関する課題や研究の可能性について言及できる（優）。 ・上記（優）の状況に加えて、授業におけるプレゼンテーション、ディスカッションの内容が教員を関心させるレベルにある場合は優れている（秀）とする。					

(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談は随時応じます。直接面談の際にはアポイントメントをお願いします。メールでの相談は随時可能です。 教員連絡先 中込さと子 snakagomi@shinshu-u.ac.jp 芳賀亜紀子 akihaga@shinshu-u.ac.jp 徳武千足 ctokuta@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	必要なテキスト、文献は随時紹介します。